



**背景**



**ニホンジカの管理捕獲・ジビエ利用**

- ・上質な皮(年100頭分~): 印伝用に加工(URUSHINASHIKA※)
- ・低品質な皮(年500頭分~): 廃棄



**高品位なワイン醸造(ワイン県)**

- ・ワインパミス(加工残渣の果皮や種)の排出廃棄(年10,000ト~)

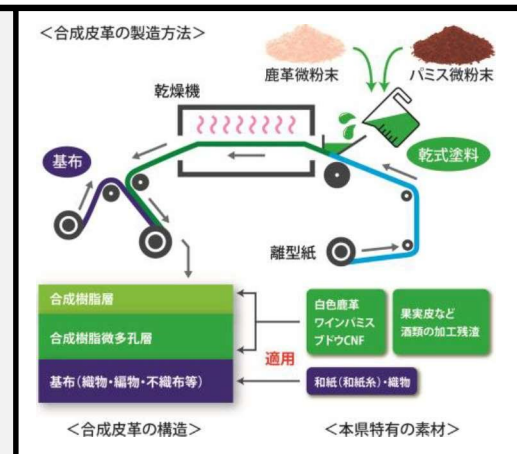
**【課題】 廃棄物(低品質な鹿革やワインパミス)の有効活用、アップサイクル**

**【世界的な動向】**

- ・SDGs12.5(2030年までに廃棄物大幅削減目標)

**【皮革・合成皮革業界のトレンド】**

- ・リサイクルレザー(革端材の活用)→欧州で普及
- ・ヴィーガンレザー(パミスの活用)→欧州、青森、長野



**目的**

SDGsへの貢献と県内経済の好循環を実現

**【開発目標】**  
本県特有の素材を活用しストーリー性を持つ新たなアップサイクル素材(合成皮革)を創生

県内ニーズ × 産技セの技術シーズ × 更なる付加価値

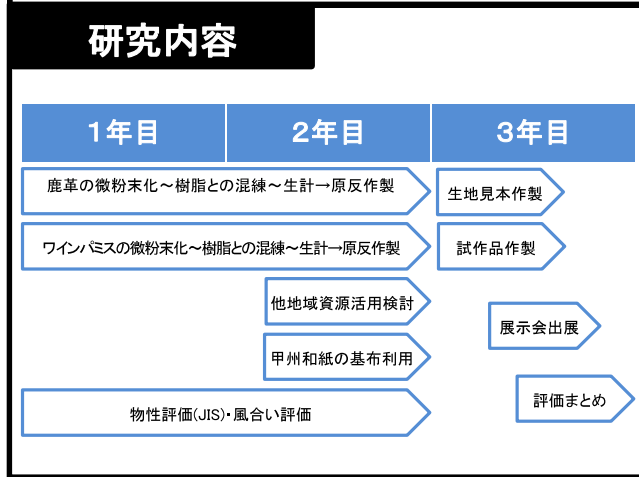
ニホンジカ皮全量の資源化  
ワインパミスの有効利用

白色革の製造技術(特許)※1  
ブドウCNF※2作製技術(特許出願中)

甲州和紙  
その他の天然素材

家具 甲州印伝 宝飾・服飾 自動車用品

※1 環境負荷の少ない鞣し技術・生分解する皮革製造技術  
※2 セルロース・ナノ・ファイバー(植物繊維を微細化した素材)



**期待される効果**

本県特有の新たなアップサイクル素材(合成皮革)の創生

エシカル消費を意識した付加価値製品・新ブランドの創出

地場産業等の振興	スタートアップ支援	素材供給者への還元
印伝、家具、宝飾、ワイン		ワイナリー、ブドウ農家
印刷、縫製、果樹		ジビエ食肉加工、和紙

★外部企業とのコラボ、新市場開拓の可能性(アパレル、車両シート等)

宝飾 家具

合成皮革 日本市場  
2020年: 930億円  
※工業統計調査2020年確報

様々な業界・企業の参画が可能に

成長率 7.9%  
※Research Nester社 2022Report

2030年: 約2,000億円

デジタル印刷

ワイン

アパレル